

妙法蓮華經の御本尊供養候ひぬ。

此の曼陀羅は文字は五字七字にて候へども、三世諸仏の御師、一切の女人の成仏の印文なり。冥途にはともしびとなり、死出の山にては良馬となり、天には日月の如し、地には須弥山の如し。生死海の船なり。成仏得道の導師なり。此の大曼陀羅は仏滅後二百二十余年の間、一閻浮提の内には未だひろまらせ給はず。

病によりて薬あり。軽病には凡薬をほどこし、重病には仙薬をあたうべし。仏滅後より今までは二百二十余年の間は、人の煩惱と罪業の病軽かりしかば、智者と申す医師たちつゞき出でさせ給ひて、病に随って薬をあたえ給ひき。所謂俱舍宗・成実宗・律宗・法相宗・三論宗・真言宗・華嚴宗・天台宗・浄土宗・禅宗等なり。彼の宗々に一々に薬あり。所謂華嚴の六相十玄、三論の八不中道、法相の唯識觀、律宗の二百五十戒、浄土宗の弥陀の名号、禅宗の見性成仏、真言宗の五輪觀、天台宗の一念三千等なり。今の世は既に末法にのぞみて諸宗の機にあらざる上、日本国一同に一闡提・大謗法の者となる。又物に譬ふれば父母を殺す罪、謀叛ををこせる科、出仏身血等の重罪等にも過ぎたり。三千大千世界の一切衆生の眼をぬける罪よりも深く、十方世界の堂塔を焼きはらへるよりも超えたる大罪を、一人して作れる程の衆生、日本国に充滿せり。されば天は日々に眼をいからして日本国をにらみ、地神は忿りを作して時々身をふるうなり。然るに我が朝の一切衆生は皆我が身に科なしと思ひ、必ず往生すべし、成仏をとげんと思へり。赫々たる日輪をも目無き者は見ず知らず。譬へばたいこの如くなる地震をもねぶれる者の心にはをぼえず。日本国の一切衆生も是くの如し。女人よりも男子の科はを多く、男子よりも尼のとがは重し。尼よりも僧の科はを多く、破戒の僧よりも持戒の法師のとがは重し。持戒の僧よりも智者の科はをもかるべし。此等は癩病の中の白癩病、白癩病の中の大白癩病なり。末代の一切衆生はいかなる大医いかなる良薬を以てか治すべきとかんがへ候へば、大日如来の智拳印、並びに大日の真言、阿弥陀如来の四十八願、薬師如来の十二大願、衆病悉除の誓ひも及ぶべからず。此等の薬をつかはす病消滅せざる上、いよいよ倍増すべし。此等の末法の時のために、教主釈尊・多宝如来・十方分身の諸仏を集めさせ給ひて一の仙薬をとゞめ給へり。所謂妙法蓮華經の五の文字なり。此の文字をば法慧・功德林・金剛薩埵・普賢・文殊・薬王・観音等にもあつらへさせ給はず。何に況んや迦葉・舍利弗等をや。上行菩薩等と申して四人の大菩薩まします。此の菩薩は釈迦如来、五百塵点劫よりこのかた御弟子とならせ給ひて、一念も仏をわすれずまします大菩薩を召し出だして授けさせ給へり。

されば此の良薬を持たん女人等をば、此の四人の大菩薩、前後・左右に立ちそひて、此の女人たゞせ給へば、此の大菩薩も立たせ給ふ。乃至此の女人道を行く時は、此の菩

薩も道を行き給ふ。譬へばかげと身と、水と魚と、声とひゞきと、月と光との如し。此の四大菩薩、南無妙法蓮華經と唱へたてまつる女人をはなるゝならば、釈迦・多宝・十方分身の諸仏の御勘氣を此の菩薩の身に蒙らせ給ふべし。提婆よりも罪深く、瞿伽利よりも大妄語のものたるべしとをぼしめすべし。あら悦ばしや、あら悦ばしや。南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經。

日 蓮 花 押